



子どものみかた(3)

この3か月間、「強みからみたみかた」について書いてきました。今回は「子どもたちからみた大人」について私が出会ったRさんに寄稿してもらいました（関係者の了承を得て記載しています）。

Rさんは、小学校の頃から友達が多くムードメーカー的な存在だったので、中学になると体調不良や情緒の不安定が起きるようになり、登校が安定しない状態が続いてしまいました。高校進学後はさらに自宅に引きこもることが増え、進級や卒業が危ぶまれるギリギリな状況になっていきました。「このままの状態が続くと退学か…」という時期に転機が訪れました。Rさんはどのように大人をみていたのでしょうか。

色々な大人達と関わる環境にいた私の見解では、大人と

はある意味子どもと変わらず自己中心的なものです。すぐくさめた言い方ですがこれは本音です。例えば、私と密接に関わるある一人の大人は、世間体と言つものをするごく意識して、何をするにも周囲の人が何を言つか、他の人たちにどう見られるのかと、しつこく言います。ポジティブに捉えれば気遣える人なのかもしれないですが、子どもとていうのは自分にとって都合が悪いと、相手の悪いところだけをみてしまいます。ここが重要です。多くの大人たちが私に悪くみられたり悪く言われたくないために、私と関わらないようになりました。その時は私がそれを望んだからです。こうして私は人と関わらなくなり、ひきこもるようになり、「生きていても意味がない、死にたい」と思うようになりました。苦しかったです。

しかし、そうではない大人にも出会いました。私の将来を思うが故に厳しいこともありましたが、私はそれが嬉しかったのです。私を信じて向き合い、私のために時間をつくってくれ、私のために一緒に考えてくれ、私を応援してくれました。だからその大人たちの期待に応えたい、「なんとかが生きていかなきゃ」と思うようになりました。その方々のおかげで前向きになれたと言つても過言ではありません。

子どもの私が大人の皆さんに伝えたいことは、世間体ではなく、嫌われる勇気をもってでも子どものことをちゃんとみて接してほしい、ということ。ちゃんとみて信じてくれれば、信じて応えていきたいと思えます。私はこれから先も、そんな大人の方々とつながっていききたいです。

大人が子どもの強みをみていくこと、そうした中でつながられる大人・信じられる大人がいるとわかることで、子ども自身が自分の力を信じていくことができる、という大切なことをRさんは教えてくれます。

苦楽を共にした先生方、家庭、様々な支援職にとつて、なにより本人自身にとつて、一緒に旅立ちの時を迎えることができるとは、かけがえのない経験となり、今を生きる力となっています。

私たち大人の「みかた」ひとつで、かわることがたくさんありそうです。「強みからみたみかた」を心にとめて、過ごしていきたいですね。

軽井沢の植物と方言 60



葉は南天にも、小豆にも似ている？ ナンテンハギ 南天萩

町内にも自生し、南千島、北海道、本州、四国、九州の山野の草原などに生える多年草です。7月上旬から10月上旬頃に紫色の花をつけます。ナンテンハギの名前は、葉の形がメギ科のナンテンの小葉に似ていることから名づけられたそうです。

方言と由来等

①アカマメ
実が成熟するとそのさやが赤くなることに由来します。

②アズキツパ
葉の形が小豆に似ていることに由来します。

【参考文献】佐藤邦雄（1978）
信州佐久の植物方言

【問い合わせ】
植物園 ☎48-3337

軽井沢町人権教育講座 動画配信について

あなたはどのくらい気付いていますか？
自分の身の回りにどんな人権に関する課題があるのかを知ること、人権について考え、お互いを理解し合うきっかけとしていただけよう、人権に関する動画を配信しています。

この機会にぜひ視聴いただき、思いやりの気持ちを広げ、だれもが自分らしく活躍できるまちとなるよう、一緒に考えてみませんか。

配信期間 3月31日(木)まで

配信内容

動画① 「人権3法」について

動画② 「LGBTQ」について

視聴方法
町ホームページからご覧ください。（視聴料は無料ですが、通信費は別途視聴者の負担となります。）

ホーム↓教育・文化↓軽井沢町人権教育講座動画配信について

【問い合わせ】
生涯学習課 生涯学習係 ☎45-8695

動画配信ページ